

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 松江市立女子高等学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 ()

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 690 - 0835

島根県松江市西尾町540-1

E-mail matsueshijo@mable.ne.jp

Website http://www.shijyo.city.matsue.shimane.jp/

幼児児童生徒数 男子 0 名 女子 342 名 合計 342 名

幼児・児童・生徒の年齢 15 歳～ 18 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

3. 活動内容

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校は、「より広く、より高く」を校訓として、ESD を知識の習得や、学校のみで行なうものとしてではなく、得た知識をどの様に活用するのか、そして地域と連携して行なわれる教育であると捉え、ESD の実践を通して生徒の考える力、そして発進力の育成を目標とした。

具体的には、AIDS に関する教育、平和・人権教育を柱に、AIDS 啓発活動を行った。

「AIDS 啓発活動」について

長年、AIDS に関する啓発活動に取り組み、国内外のさまざまな場で評価を得ている生徒会執行部との交流学习により、AIDS に関する正しい知識と偏見や差別の払拭について学び、これからの生き方を考える機会としている。

【取り組み】

生徒会執行部によるプレゼンテーション (出張講義など)

(プレゼンの内容)

- ・本校の取り組み
- ・ AIDS、HIV とは
- ・ 感染経路（性感染、血液感染、母子感染）
- ・ 検査について
- ・ 世界と日本の AIDS の現状について
- ・ 偏見と差別について
- ・ 児童労働とフェアトレードについて
- ・ まとめ

(実施日・訪問校/団体/事業・対象)

平成 29 年 7 月 23 日 (日) ・ 島根県歯科医師会 ・ 歯科医師、歯科衛生士
平成 29 年 12 月 1 日 (金) ・ 世界エイズデー街頭キャンペーン※¹ ・ 市民
平成 29 年 12 月 5 日 (火) ・ 松江市立八束学園 ・ 中学 3 年生
平成 30 年 2 月 11 日 (日) ・ 松江市立鹿島中学校 ・ 中学 3 年生
平成 30 年 3 月 4 日 (日) ・ 第 13 回松江市ボランティアフェスティバル※² ・ 市民

※¹ 世界エイズデーに合わせた AIDS 理解のための啓発活動。JR 松江駅で国際ソロプチミスト松江の方々と共に、AIDS 予防の啓発カード等を配布。市民の方へ AIDS について知ってもらい、偏見をなくし予防の基礎知識を広める機会とする。

※² ボランティア活動の啓発を目的に、あらゆる世代間の触れ合いと交流して、活動者の情報交換ができるよう、市民のボランティア意識の向上に寄与することを目的として実施されている。



松江市立鹿島中学校



松江市立八束学園



世界エイズデー街頭キャンペーン

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他 (AIDS 啓発活動)		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他 (自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他 (生徒会活動)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

特になし

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

特別活動の中で、生徒会の生徒を中心に実施。プレゼンなどの対外的な活動を通じて、エイズに関する正しい知識の獲得はもちろん、他者への効果的な伝え方を学び、その技術の習得も目的の一つとしている。

しかし、実際はプレゼンのためのパワーポイントを、新しい情報や事実を調査し、例年更新しているが、それらをすべて覚え、自分の知識として昇華させるところまではできていない。そのため、自分の知識を、自分の言葉で伝えるのではなく、原稿をパワーポイントに合わせて読む、という作業になってしまっている。来年度の活動に向け、得た知識をしっかりと理解し、自分の言葉でプレゼンができるように指導している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

年度当初、生徒総会で全校生徒・教員に対し出張講座のプレゼン発表を行った。活動内容の共通理解を図り、意見や提案を参考に内容や発表スタイルのさらなる改善に努めた。

今年度は例年行っている生徒会執行部対象のエイズ学習会（保健所などから講師派遣）は実施しなかったが、歯科医師会での発表の際、大学病院医師による講演「HIV感染症のイロハ」を聴講し、HIVの現状や医療現場での取り組みについて学んだ。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校評価アンケート（生徒・保護者・教職員対象）で紙面による評価を実施。おおむね良い評価をもらっているが、中には活動をしていること自体を把握していない方もいるため、さらに多くの方に知ってもらうための工夫を必要としている

「四者（生徒・保護者・教職員・地域住民対象）の語らい」という、学校独自の談話会を実施し、校内外の方から直接意見をもらう機会を設けている

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学校 HP への掲載、PTA 会報、学校便りの配布を通して出張講座の様子を発信している。

効果としては、近隣の公民館文化祭での発表依頼があった。都合によりポスター掲示になったが、地域の方々に本校の活動を知っていただいたり、学ぶ機会が少なく偏見を持ちやすい成人に対して正しい情報を提供することができた。

実施には至らなかったが、未実施校から出張講座についての問い合わせもあり、本校の活動が様々なところへ浸透しつつあることを実感した。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

(国際ソロプチミスト松江)、

世界エイズデーに合せた AIDS 理解のための啓発活動を行った。AIDS 予防の啓発カードやレッドリボンを製作し、JR 松江駅で国際ソロプチミスト松江の皆さんと一緒に配布した。

(出張講座訪問先の中学校)

プレゼン発表の後、本校の生徒 1 名ずつが中学生の各グループに入り、分かりにくかった点、新たに生じた疑問などを言ってもらい、それに答えることで理解を深めてもらっている。答えられなかった質問については後日まとめて返答し、本校生徒会にとっても意義のある交流となっている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

特になし

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

AIDS/HIV に対して正しい知識を持つことはもちろんだが、AIDS/HIV に苦しむ世界の国々やそこに暮らす子どもを取り巻く問題が、日本に住む自分たちの生活とも密接に関わっていることに気づくことができた。また、その気づきから自分にもできる何かしらの行動を取るきっかけになっている者も見られた。

とにかく自分優先になりがちな生徒たちではあるが、学校生活のみならず日常生活の中でも他者を思いやる気持ちが芽生え、自ら行動することの大切さを学び実践しているように思う。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

①市内小中高等学校への AIDS 啓発出張講座

：市内各校へ出張講座実施の案内文書を送付し、依頼があった学校へ出張する。

②市内公民館、成人向けの AIDS 啓発出張講座

：市内公民館等へ出張講座実施の案内文書を送付し、依頼があったところへ出張する。またボランティアフェスティバルなどのイベントへ積極的に参加し、広く市民へ啓発活動を行う。

③リーダー研修会（エイズ学習会）

：生徒会執行部の生徒を対象に、一泊二日で研修会を実施。保健所などから講師を招き、研修内容の一つにエイズ学習を取り入れる。

④国際協力体験プログラム参加（JICA 中国主催）

：国際協力の大切さや開発途上国の現状を理解する。その中で開発途上国へのかかわり方を考えたり、日常生活の中でどう行動につなげるか考え、他者と協力して問題解決に挑む力を養う。

⑤世界エイズデーでの啓発活動

：AIDS 予防の啓発カードやレッドリボンを製作。JR 松江駅で国際ソロプチミスト松江の皆さんと一緒に配布する。